



KSKQ どかどか No.301

ぽぽんがぽん news



笑顔あふれ つながりあえる社会へ ~ひとりひとりが自分らしく生きてゆけるために~

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

記事を書いているのは師走ですが、新年を意識すると昨年の元旦に発生した石川県能登地方での地震のことが思い出されます。今年は何事もなく(そんなことは有り得ないでしょうが...)皆様がそれぞれに新年を迎えられているといいな、と思います。



新年号だから...と構えず、今、思いついたこと書こうと思います。

以前にも通信で紹介した岡山県の「ぬかづくるとこ」さんの取り組みである「なんでそんなプロジェクト」ですが、実は生活介護の「ぽかぽか」では地域の中学生の実習受け入れにおいても、この手法?考え方?をインストールさせてもらっています。実習に来た中学生に「感想」を書いてもらうのではなく、「なんで!?なんなんそれ?!」と思ったことを「なんでそんなシート」に書いてもらっています。「感想」を書くこと自体、無意識に読み手の評価を気にしてしまう傾向にはないでしょうか?うちの小学生の子も、夏休みの読書感想文に関して起承転結などの書き方指導書?まで配られていました。感想も評価の対象となっているのではないのでしょうか。「ぽかぽか」で中学生が書いてくれた「なんでそんなシート」を見てみると、とても率直に感じた「違和感」を書いてくれているように感じました。この「違和感」って、内なる「自分」との対比から感じるもので、実はとてもストレートなもので大事な感覚なんだろ?と感じました。「違和感」を知ることは「自分」を知ることになるような気がしました。ダイバシティやインクルージョンには、この「違和感」から丁寧に向き合っていない意味が無いように感じました。

と、思い出されたのが先日オンライン受講した研修での「場を見る」というテーマでの話。細部にとらわれず、ぽんやりと総体的に包括的に場や人の関係などを捉えることが大事だと、宮本武蔵の五輪の書の一節も紹介されていました。詳細は割愛しますが「観る」と「見る」の使い分け。前述の「違和感」はこの「観る」に近いのかな、と思います。そしてこれは、知的障害のある方の支援においてもやはり大事なことです。支援者は利用者を知るためにアセスメントしますが、アセスメントはどちらかというと「見る」情報で、個々の支援者が「観る」ことで知っていくことが大事。そして、利用者も支援者を見ています。特に重度知的障害、自閉症の方々は、私たち支援者をよく「観て」いるのだと思います。構造化された支援はもちろん大切で、混乱を減らし見通しを保つ意味では大きな一助になりますが、やはりそれだけでなく、我々支援者を「観て」いるのだと思います。なので、どのような思いをもって支援で関わらせてもらうかというのは、やはりとても大きなことだと感じています。

個人的な近況雑記のような記事となりましたが、新年もいろいろなことを「観る目つよく、見の目よわく、遠きところを近く見、近き所を遠く見て(五輪の書 原文引用)」いきたいと思っています。

(事務局 長 水野昌和)

一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月1・2・3・5・6・8の日発行

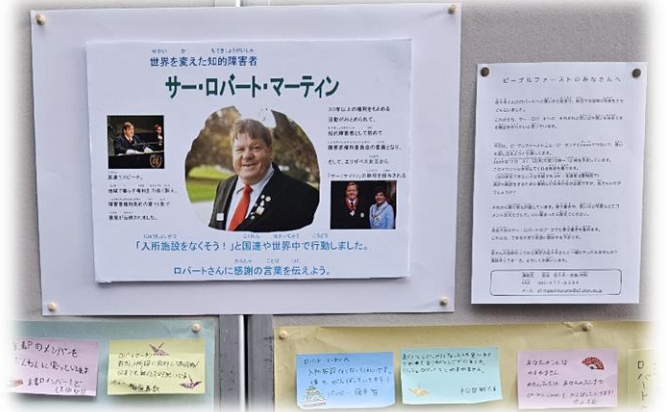


- ・年始のご挨拶
- ・ピープルファースト大会in奈良の感想
- ・きょうのNANIKA
- ・各場からスタッフ紹介(相談支援事業)
- ・後援会より報告
- ・寄付金等のお礼
- ・編集後記



PF大会 in 奈良の感想

全体会で虐待の事で、人生初の意見を発言しました。
 奈良県なので宿泊しました。
 和室でよかったけど、4人だったので狭い部屋だったので完全睡眠がとれませんでした。
 来年（横浜大会）はシングル部屋を希望したいとおもいます。



今年は追悼大会と、思ったけど、ロバートマーティンさんが亡くなったので、献花台でもせっちするかなとおもっていたのでぼくは残念だと思いました。メッセージを書きました。
 交流会は、遠くから来た人とも交流ができました。普段でないラーメンや、ローストビーフができました。ぱあーとなあの一にも出会い交流しました。

分科会では入所施設はなくその部に参加して、子供の頃の話（施設）をしました。虐待はなかったので、楽しかった。



来年は神奈川県横浜市です。30回目なのでPF大会をぽんのスタッフ+メンバーの全員参加をしたいと思います。
 神奈川県大会でもロバートさんの追悼大会をしたいと思います。
 (ピープルファースト担当 鎮山伸吾)

今回で、全国大会は3回目の参加。前回の奈良は、ピンチヒッターのヘルパーで、あまりよくわからない中でのヘルプでした。
 たまに「しず山さん」と声をかけてくれる方がいたけど、それが誰なのかもわからず、交流会は大勢の人の中、2人でポツンとして、「とりあえず、ご飯食べよう」とするけど、みんなのパワーに押されて、あまり料理が取れず、人気なかった茶そばばかり食べてた記憶です。

今回は、普段からPF大阪の活動の様子も近くで見せてもらっていて、知った顔も多かったし、ぷくぷくさんと一緒に行動で、心強かったこともありました。

全国大会の最後に、会場からの意見をというコーナーで、しず山さんは、迷いながらも手を上げ、しっかり自分の意見を述べられました。とても勇気がいることだし、素晴らしいとおもいました。



来年の横浜大会では、どんな姿を見せてくれるのか、今からとても楽しみです。
(ヘルパー派遣 加登めぐみ)

第29回 ピープルファースト大会 in 奈良



ピープルファースト大会が奈良県で2日間にわたって行われ、1日目は全大会と交流会で2日目は分科会と閉会式でした。場所は、『なら100年会館』で、全国から、約914人が参加されていました。ぼぼんがぼんからは、鎮山さん、ヘルパー（加登）さん、吾郎さん、六條で参加してきました。

全大会では、①入所施設をなくすぞ！②差別虐待をなくそう③言いたいことを言い合おうのテーマがあり、そのうちの①入所施設をなくすぞ！②差別虐待をなくそうでは、実在の課題を演劇で再現して、会場からの意見があり、会場全体が活気づいてました。

交流会では、会場が満員で会場が二つで開催され、立食パーティー料理はあっという間になくなり、すぐに料理が補充されますが、すぐにお皿は空っぽで、かなりの争奪戦でした。それ以外にも、それぞれの表現で歌ったり、踊ったりで、さらに盛り上がっていました。

それぞれの伝え方でアピールや楽しんでおられて活気のあったピープルファースト大会で、当事者が主体となって取り組むことが大事と再認識してでき、茨木でも少しずつ取り組めたらと思います。(六條友聡)



きよらのNANIKA

016



ほかほか・どかどかに通う利用者さんの取り組みのなかで、スタッフや、メンバー同士が「何かすごい」「何か良いなあ…」と感じた「何か」。名前をつけたり説明してしまう前に、まず色んな人に見て欲しい、そして一緒に考えられたら良いと思います。

昨年、ほかほかの「かみきり」を主題にした、2つのワークショップに参画しました。

- ・ほかほかと天主小学校1年生の交流事業(1~3月)
- ・きゃぱす(市民活動センター)「ちっちゃなART」体験ブース(9月)

*「かみきり」とは？

ほかほかで取り組んでいる、牛乳パックをリサイクルして紙製品をつくる「かみすき」の、準備作業で、牛乳パックをミキサーで溶けやすくするために、ハサミで細かく切る作業。

「かみきり」は、ほかほかの日常のなかで、見過ごしがちな、取るに足りないものかもしれません。アピールするなら実際にハガキを作っているところじゃないか、という声がどこかから聞こえてくるようです。

でも、結局溶かされてしまう紙を、由井さんがこんなに丁寧に切って並べ、しかも躊躇なく集積用の袋に放り込んでいくことに感動した、その気持ちを伝えたい…

それを「ふくしばみくすと」の高田さんや、天主小学校の先生がキャッチして下さり、色んな人が「紙を切って並べる」「それを写真に撮る」ワークショップにつながりました。

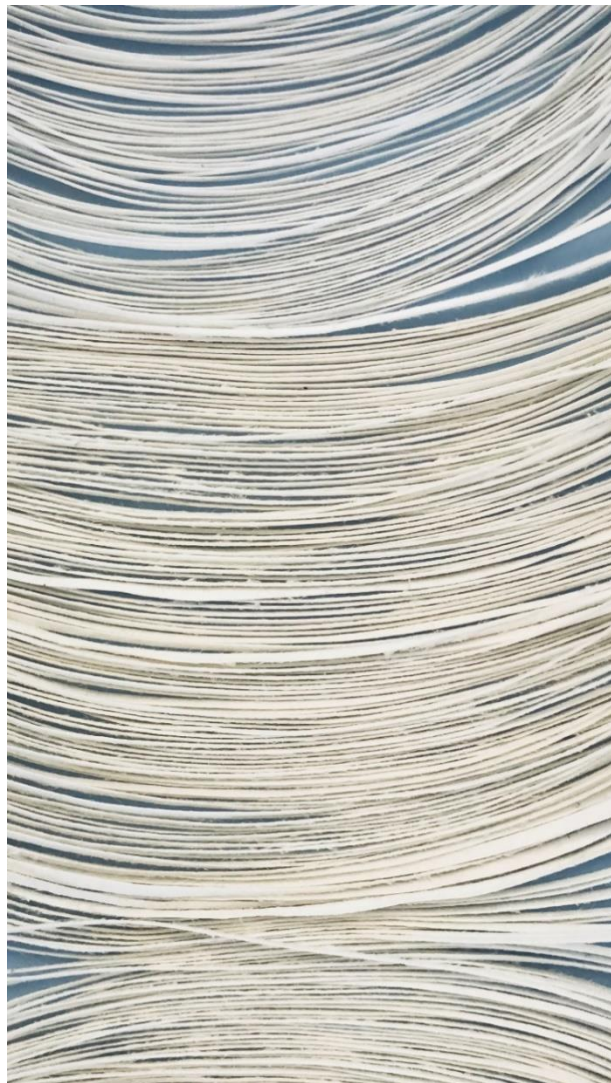
由井さんは今日もいつも通りマイルールで作業に取り組んでいます。新聞紙を1枚ずつバラす作業では、必ず1枚ごと紙面に目を通す行程が入ります。

おなじ「かみきり」でも、あ、今日は並べていないなと思ったら、切る前の紙を大ききごとに仕分けしてから切っている。

多分、由井さんは誰にどう思われたくてそれをやっているのではないだろうな…

自分を振り返ると、「誰にどう思われたい」ばかり心を占めていて、ついつい「もっと良く」見せたいと思ってしまいます。

「こう思われたい」と作るものより、日常のなかの「取るに足りない」ように見えることの方が、実は色んな人とつながるきっかけなのかもしれない、と思いました。



(題字：林裕之さん 文：山根康純)



相談支援部門

事業紹介／スタッフ紹介

こんにちは。相談支援部門の高島です。

今年、年女です。(年齢がバレてしまいますが) ぼぼんがぼんに
入職してあっという間に2年が経ちました。計画相談と委託
相談を兼務しています。

以前は30年以上公務の仕事に就いていましたが、早期退職をし
て転職しました。長らく児童福祉関係の部署にいましたので、障害者福祉の業務はほとんど初心者です。そ
のため、周りの方々に教わりながら日々業務を行っています。

今、業務のなかで思うようにいかないなあと思うことがあります。茨木市内での女性のグループホーム探し
です。利用者の親御さんが親亡き後のことを考えて希望されることが増えていますが、なかなか見つかりません。
他市に比べて新しく開設されることが少なく、空きが出ることもほとんどないのが現状です。他市であれば
見つけられるかもしれないのですが、住居も日中活動の場所も一度に変わるのとは…という親御さんの気持ち
があり、前に進まない状態が続いています。



話はガラッと変わり、最近私は「ヌン活」にはまっています。「ヌン活」
とはアフタヌーンティーを楽しむ活動のことです。
アフタヌーンティーは、午後にセイボリー(塩気のある食べ物)、スコーン、
スイーツのセットを紅茶でいただくのが基本ですが、お店によってさまざ
まです。季節ごとに、旬のフルーツやハロウィン、クリスマスなどの
飾り付けがされたスイーツがあったり、見るだけでも楽しめます。
飲み物は紅茶だけでなく、他にも選べます。

甘い物には目がない私ですので、一度にいろんな種類のスイーツを
楽しめるのが魅力です。



おすすめは千里阪急ホテルのアフタヌーンティーで
す。セイボリーだけでお腹がいっぱいになるくらいボ
リュームがあるのに、とてもリーズナブルです。人気
があるので、予約開始日で土日の予約がうまってしま
います。機会があれば、ぜひ。(宣伝のようになって
しまいましたが) その千里阪急ホテルが2025年度末
で閉館予定なのがとても残念ですが、これからもいろ
んなお店のアフタヌーンティーを楽しみたいと
思っています。

これからもどうぞよろしくお願いたします。
(高島志のぶ)



しゃかいふくしほうじん 社会福祉法人ぽぽんがぼん かい 後援会「つながりの会 ぽぽんがぼん」

さくねん かつどう 昨年の活動より

がつ にち にち 10月20日(日) こうりゅうかい たつきゅう しょうがいふくし 交流会「卓球」：障害福祉センター「ハートフル」にて

おとし おなじ たつきゅうだい だい じゅんび いちだい つうじょう たつきゅう 一昨年と同じように卓球台2台を準備、一台は通常の卓球。さんかしゃ こうたい しあいけいしき に マイラケット持参の方、一打一打に集中して、真剣に勝負されていました。スマッシュを決められたとき えがお すてき はいるてんすう みまもるがわ いっしょ いっきいちゆう トピンポンでカップに入る点数に、見守る側も一緒に一喜一憂しながら たのしみました べつ だんたい あつまりで 楽しんでました。別の団体の集まりで こられて 来た方も飛び入り？参加、 たつきゅう 卓球・スマートピンポンも元気に参加させ 休憩の茶話会まで一緒に楽しませて ました。



がつ にち もく 11月28日(木) がくしゅうかい せいねんこうけんせいど 学習会「成年後見制度について」パートII ハートフル 4階大会議室(茨木しょう会との共催)

おとし はんきょう おおきかった せいねんこうけんせいど ひきつづき はってんへん 一昨年、反響の大きかった「成年後見制度について」引き続き、発展編として 弁護士の東奈央さんに講師を依頼。制度利用にあたってのメリット、デメリット など 事例を交えながらかみくだいて話していただきました。後半は、「大阪での グループホーム、マンション追い出し裁判」に携われ、第一審、二審判決を経て



わかい 和解、マンションで今まで通りの生活が過ごせている状況について説明頂きました。参加者から「成年後見制度は良い制度だと思っていたが、良い制度とは言いきれない部分もあるように利用する人が安心して利用できる制度になって欲しい」「一旦後見人が付くと辞めさせることもできないし、人権尊重の立場でつとめてくれる“いい人”にどう当たるかが

おおきな課題だ」「利用する為の書類や診断書のどこにレ点が付いていれば申し立てられるのか、詳しく説明して頂きイメージがわきました」「グループホームは住居ではないとの判決は意外でした」「グループホーム訴訟、とても具体的なお話を聞き、開設に向けてとてもエネルギーをいただきました」「昨年につづき詳しく何う事ができ良かったです。追い出し裁判の様子も知れて改めて本当によかったと思いますが、和解するまでの入居者さんの心情を思うと心が痛みます」…等の感想(一部掲載)がありました。(村上和子)



しえん きふ ていきょう
ご支援、ご寄付、ご提供ありがとうございます！

ねん がつ にち ねん がつ にち じゆんどう
2024年9月16日～2024年12月11日まで（順不同）

ゆうびんりかえ つこうじょう おなまえ はんえい ばあい じょうきかん かざら ずけいさい ごりょうじょう
郵便振替の都合上、お名前が反映できていない場合は上記期間に限らず掲載させていただきます。ご了承ください。



しゃかいふくしほうじん ごきふ
社会福祉法人ぽぽんがぽんへのご寄付ありがとうございました

舟橋様 小野寺様 井向様 山田様 金田様 村上様 加登様
太田様 鎮山様 萩原様 長島様 匿名の皆様

つながりのかい ぽぽんがぽん (こうえんかい) へのごきふ
つながりの会ぽぽんがぽん（後援会）へのご寄付ありがとうございました

村上様 匿名の皆様

【募金箱】 吉永様 杉本様 埴淵様 高原様

ファミリーマート並木町店様 ファミリーマート伊予別院町店様 ファミリーマート舟木町店様



かん ぎゅうにゅう ていきょう
アルミ缶・牛乳パックのご提供ありがとうございました

【アルミ缶】 浅野様 古川様 ハシオダニ様 藤本様 竹内様
林様 井原様 GHピース様 作業所等へ持って来てくださった皆様

【牛乳パック】 萬谷様 ハシオダニ様 小川様 藤本様 竹内様

GHピース様 GH多歌多架様 関西よつ葉連絡会淀川産地直送センター様
作業所等へ持って来て下さった皆様

ご寄付をご希望いただける方は

こちらまでお願いします

<払込取扱票をご利用される場合>

口座記号番号：00930-0-212299

口座名称：社会福祉法人ぽぽんがぽん

<口座振込をご利用される場合>

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900 店番：099

店名：〇九九（せのくにゅう）

預金種目：当座

口座番号：0212299

口座名称

（漢字）：社会福祉法人ぽぽんがぽん

（カナ）：フク）ポポンガポン

グループホームの給湯器や
風呂釜が、立て続けに買い替え
が必要になってきています。

まるで買い替えが必要な製品
が列をなしているようです。

物価高も追い打ちで
莫大な買い替え費用です。

どうかご寄付で
お助けを！！



ご寄付をいただける際は

「グループホームに寄付」

と、ご記入をお願いします。

へんしゅうこうき
編集後記

ねん がついつちの とほんとうじしん ねん ねん ふりかえって
2024年1月1日能登半島地震からはじまった1年ですが、ぼぼんがぼんの1年を振り返ってみると、
ねん おおく ぶしよ じんざいぶそく じょうきょう げんざい いちぶほじゅう ふそくぎみ
2024年は多くの部署で人材不足がある状況からはじまりました。現在は一部補充もできて、不足気味な
かくしよくいん ふんぼって じょうきょう とくてい しえんわく しえん こんなんせい まったく
各職員がなんとか踏ん張っている状況ではありますが、特定の支援枠には支援の困難性もあり全く
ほじゅう いきづまって じょうきょう
補充ができず行き詰っている状況もあります。

また たすう りようしゃ とし かさねて びょうき ふえて いりよう
又、多数の利用者のみなさんも年を重ねてくるなかで、いろいろな病気にかかることが増えてきており、医療
れんけい しえん みなおし おおくひつよう じょうきょう
との連携や、支援の見直しが多く必要になってきている状況があります。

また こどもわかものじりつしえんぶもん おおきなうごき ねん
又、子ども若者自立支援部門においても、大きな動きのあった1年でした。

おおく こんなん のりこえて ねん よいとし
多くの困難を乗り越えて、2025年は良い年になるようがんばります。

おおたごろう
(太田吾郎)

＜タイトルナンバーについて訂正とお詫び＞

がつ がつはっこうぶん ニュース まちがい
4月～10月発行分のぼぼんがぼんnewsのタイトルナンバーに間違いがありました。

いか ていせい けいざい おわびもうしあげます
以下に訂正ナンバーを掲載しますとともに、お詫び申し上げます。

誤	正
2024年4月16日発行 KSKQ どかどか No.297	2024年4月16日発行 KSKQ どかどか No.298
2024年8月29日発行 KSKQ どかどか No.298	2024年8月29日発行 KSKQ どかどか No.299
2024年10月30日発行 KSKQ どかどか No.298	2024年10月30日発行 KSKQ どかどか No.300

● 法人本部、ヘルパー派遣、グループホーム窓口、相談支援

〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F Fax 共通 072-623-9203

法人本部 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)

グループホーム窓口 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)

ヘルパー派遣 Tel 072-623-9205 (9:00~18:00)

相談支援 Tel 072-623-9210 (9:00~17:00)

<https://popongapon.com/>



● いばらき自立支援センター「ぼかぼか」(8:30~17:30)

〒567-0850 茨木市真砂玉島台 8-20 Tel 072-635-5762 Fax 072-635-5763

● いばらき自立支援センター「どかどか」(8:30~17:30)

〒567-0842 茨木市五十鈴町 7-29-1FS Tel 072-637-6882 Fax 072-637-6883

● 茨木市子ども・若者自立支援センターくろす (10:00~19:00)

〒567-0842 茨木市片桐町 4-7 Tel 080-2467-5566

● ユースプラザ center エント (10:00~19:00)

〒567-0882 大阪府茨木市元町 4-7 ローズ WAM2 階 事務室 Tel 080-1521-4624



編集人:「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」(社会福祉法人ぼぼんがぼん)

Tel(072)623-9202(お問い合わせはこちらまで)

〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F

発行人:関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2-東興ビル 4F 定価:50円

UD FONT

み
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。